

分担金・拠出金の名称	アジア・アフリカ法律諮問委員会 (AALCO) 分担金	評価	B
拠出先の国際機関名	アジア・アフリカ法律諮問委員会 (AALCO)		
国際機関の概要	<p>・AALCOは、国際法にかかる論点についてアジア・アフリカの意見を集約し、国連国際法委員会を中心とした機関と協議を行うことを通じて、国際法の漸進的發展に貢献する機関。</p> <p>・事務局はインドに所在し、加盟国数は47か国。</p>		
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標	達成状況		
<p>1. (1) 成果目標:「法の支配」を外交の柱に据える我が国として、アジア・アフリカ諸国における国際法上の議論をけん引し、国際法の漸進的發展に貢献する。</p> <p>活動指標: 年一度の年次総会において積極的に議論を主導し、アジア・アフリカの共通スタンスを決議の形で成果として纏め、国際法の漸進的發展に資する議論を行う。また、事務局が主催する各種セミナーには積極的に人材を派遣し、我が国の立場の普及に努める。</p>	<p>・2015年に北京で開催された年次総会では、海洋法、サイバー空間における国際法、国連国際法委員会における審議議題等を中心に、我が国の立場を然るべく表明し、アジア・アフリカ諸国から理解を得ると同時に、特に我が国と異なる見解がアジア・アフリカ諸国の共通意見とならないよう、本会議及び決議起草委員会にて我が国が議論をけん引した。</p> <p>・また、2014年に事務局が主催した海洋法セミナーに出席し、海洋国家として海の「法の支配」を掲げる我が国の立場を然るべく主張した。</p>		
<p>(2) 成果目標: リエゾンオフィサー会合や年次総会におけるプレゼンスの確保</p> <p>活動指標: 本部のおかれるデリーにおける月一度のリエゾンオフィサー会合や年に一度開催される年次総会における強い発言権を維持することにより、AALCOの適切な運用を監督・支援するとともに、同活動を通じた我が国の外交目標を達成する。</p>	<p>・在インド大使館にAALCOのリエゾンオフィサーを任命し、月一度開催されるリエゾンオフィサー会合には必ず出席の上、AALCOとして扱うべき中・長期的課題に関する議論や財政問題に関する諸課題の検討につき、我が国から派遣されている事務局次長と密に連携しつつ積極的に参画している。</p> <p>・また、年次総会には、日本政府としてAALCO委員を任命し(石垣泰司外務省参与)、国際法局から課室長級及び担当が必ず出席の上、各議題における議論に積極的に参加し、我が国の立場を然るべく対外的に説明し、理解を得てきている。</p>		
<p>(3) 成果目標: AALCOの専門分野等における影響力や組織・財政マネジメントへの影響力の確保</p> <p>活動指標: 事務局次長の輩出を通じた議論のけん引及びマネジメントの確保</p>	<p>・財政状況が厳しいAALCOにおいて、厳しく予算管理を行い、機構内のマネジメントを図ることは不可欠であり、右観点からも、我が国は設立以降一貫して事務局次長を送り込み、組織・財政マネジメントを担当させ、滞納金問題や機構改革を中心に担当してきており、加盟国から高い評価を受けている。</p>		
<p>(4) 成果目標: 事務次長職の確保による法人職員数維持</p> <p>活動指標: 3ポストある事務局次長ポストを然るべく確保する。</p>	<p>・現下の財政状況を踏まえ、職員は必要最小限に抑える必要がある中、最重要ポストの一つである事務局次長ポストは機構設立以降一貫して維持してきている。</p>		
<p>2. PDCAサイクルの確保</p>	<p>アジア・アフリカ法律諮問委員会 (AALCO) については、以下の通りPDCAを確保。</p> <p>①Plan: AALCOの予算支出先は、事務局が作成した後、事務局のあるインドにおいて、各国のリエゾンオフィサー及び事務局の予算担当次長との間で約半年間の審議を行い、年1回の総会によって承認される予算書の中で決定される。不明朗な支出項目があれば締約国が異議を申し立てることができる。②Do: 総会にて各国が承認した決議に基づき、事務局がマンデートを有する議題を中心に、セミナー等を開催。③Check: 各項目の支出が妥当かに関して、事務局が外部監査を実施すると共に、リエゾンオフィサー会合において加盟国による状況確認。④Act: 年次総会における予算審議以外に、リエゾンオフィサー会合、必要に応じて開催される予算・財務に関する小委員会会合にて審議を行う。</p>		
担当課・室名	国際法局国際法課		